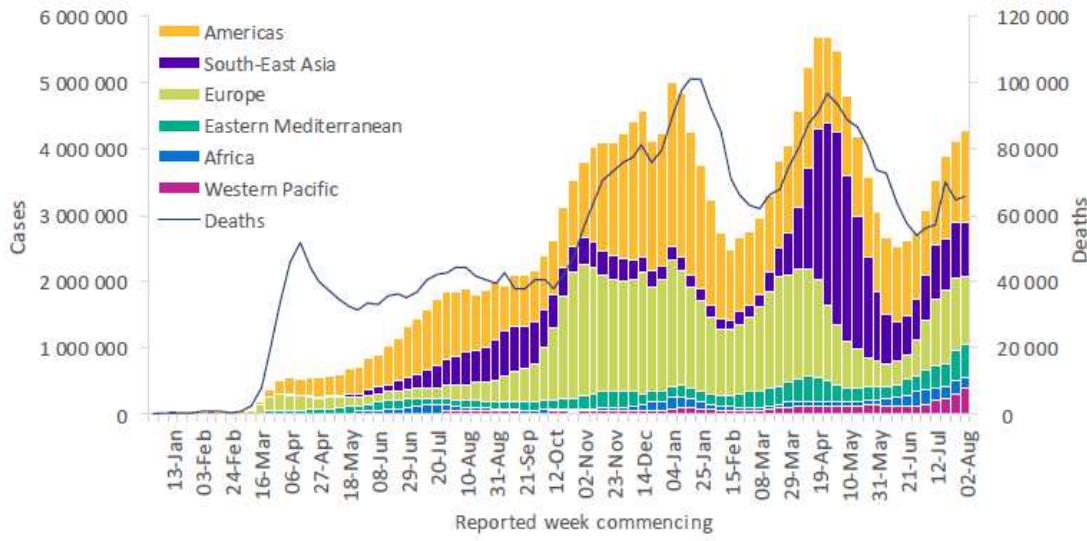




二千二十一年八月二十三

緊急事態宣言下のオリンピック、当然のことながら感染は再拡大し、東京から広がりました。ワクチンは欠品し、日本はデルタ株に飲み込まれてしまいました。インドの惨劇が日本で繰り返されるようなことだけは避けねばなりません。

Figure 1. COVID-19 cases reported weekly by WHO Region, and global deaths, as of 8 August 2021\*\*



世界の感染の傾向・・・WHOの統計から、世界的には第3波の真つただ中。感染力の格段に強いデルタ株への置き換わりが大きな理由です。

ワクチンによって第2波は抑え込まれていたかに見えていましたが、日本のように間に合わなかった後進国もあります。ワクチンの効果は限定的であり、経済的に行き届かない国も多い。感染をコントロールしないと新たな株がさらに問題を複雑化するはず。南米で発生したラムダ株も新たな脅威となるでしょう。一方デルタ株発祥のインドでは急速に感染が減速しています。人口の7割に抗体が検出され、自然感染による集団免疫が成り立っている可能性が指摘されていますが、その代償として400万人以上の死亡者が出たと推測されます。日本でも起こしてはなりません。欧米で見る限り人々は長期のロックダウンには経済的にも心理的にも耐えることができないようです。しかし短期間の強力なロックダウンが必要ではないでしょうか。

☆ お願いです、ワクチンを打ってください・・・

現在日本で使われているmRNAワクチンはとても優秀で、感染発症の予防と重症化の予防が期待できます。最近の感染者の85%以上はワクチン未接種者となっています。さらに重症者のほとんどが未接種であることから、命を守るためにはワクチン接種が強く望まれます。どんな治療、お薬にも副作用や無効例は存在します。そのネガティブな面だけを強調する誤った情報に惑わされないでください。あなたがワクチンを打てない特別な体質やまれな病気をお持ちでないのならワクチンを打ってください。基礎疾患をお持ちの方こそワクチンが必要です。

☆ ワクチンパスポート・・・ワクチンを接種したことを証明するワクチンパスポートが導入されたら制限されてきた経済活動が再開できると思います。経済活動だけではありません、現在ほぼ禁止されている介護施設や医療施設への面会もできるようなのではないでしょうか。少しは外食や旅行も可能になるかもしれません。ワクチンパスポートによる差別や不具合も想定されますが、普通の生活に近づけるためにはワクチンパスポートも必要かもしれません。現時点では私はその制度の導入を支持します。

☆ ワクチンが接種出来ない現実・・・残念ながら現在桑名市ではワクチンの接種ができません。ワクチンの不足により予約枠が設定されていないからです。9月頃には再度予約ができるようになるかと思えます。ワクチンの予約は桑名市が一括して管理しております。当院ではできません。市の広報や桑名市のホームページをまめに確認してください。(桑名市ワクチンコールセンター・・・0120-751105 年中無休 9:30-18:00)

☆ 桑名市管内自宅待機者が250人を超えた・・・感染した場合にも自宅待機はいけません、入院かホテル療養をと強く訴えましたが、医療体制が崩壊してしまったのが現実です。桑名市でも入院は困難であることを覚悟してください。自宅待機になっても保健所の聞き取りや、医師会の訪問診療などが容態を確認する予定ですが、それもパンクしてきています。もしあなたが感染して自宅待機を命じられたら、できれば、オンライン診療を利用して当院と連絡を取っていただけませんか？最悪の事態を回避できる可能性はあると思います。



☆ 思い出してください、あの頃を・・・志村けんさんが亡くなった時の衝撃を思い出してください。今はその時よりはるかに状況は悪いのです。ウイルスは変異し強毒化しました。無策により検査体制は増えず、病床を増やすことも間に合わず、行動制限の法整備も怠り、夏祭りに浮かれているうちに最悪の事態となりつつあります。感染予防の基本は個人個人に始まります。社会生活を営む上で難しいことは分かりますが自衛は何にも勝ります。うんざりするような繰り返しですが再度感染予防を徹底してください。

☆ 再確認感染予防

- ▽ マスク・・・不織布マスクの使い捨てをお勧めします。ウレタンマスクは避けるべきです。二重マスクも有効です。目の防御も眼鏡やフェイスシールドなどで怠りなく！
- ▽ 手洗い・・・頻回の石鹸による手洗いはどんな病原菌にも有効です。アルコール消毒はコロナウイルスの変異株に対して有効。他の人が触れたものはアルコールで消毒を
- ▽ 換気・・・換気的重要性が再確認されています。ウイルスは微風でも飛散する微粒子です。空気を停留させないことが重要です。クーラーを使っても時々換気をしましょう。
- ▽ ソーシャルディスタンス・・・他人との距離を2メートル取るのは大切です。

☆ 当院でのPCR検査・・・当院でもコロナ感染症の抗原検査・PCR検査・抗体検査を行っております。臨床上に必要な検査については保険を利用してできる範囲で適宜選択して行います。渡航者や無症候者に対しての検査は自費で行っております。濃厚接触者の方や、その疑いがある方については、14日間の自宅待機が優先され来院には職員及びほかの患者様のリスクを伴いますので、受け入れておりません。

医院からのお願い

- ★ 電話再診・オンライン診療が利用できます。受付などでご相談ください
- ★ 自宅で検温してください。発熱があればあらかじめ連絡をください！
- ★ 入り口で検温・指消毒・マスクをお願いしています。発熱者は車内待機や発熱外来をお願いします
- ★ 無症状者のPCR検査はWEBで受け付けています

コロナニュース ⑧ 二十二十一年八月二十三日発行  
編集・文責 村松正俊

